

## 2. 就職活動一般に関する意識、進路予定

### (1) 卒業・修了後の進路予定（希望）、就職活動予定・実施状況

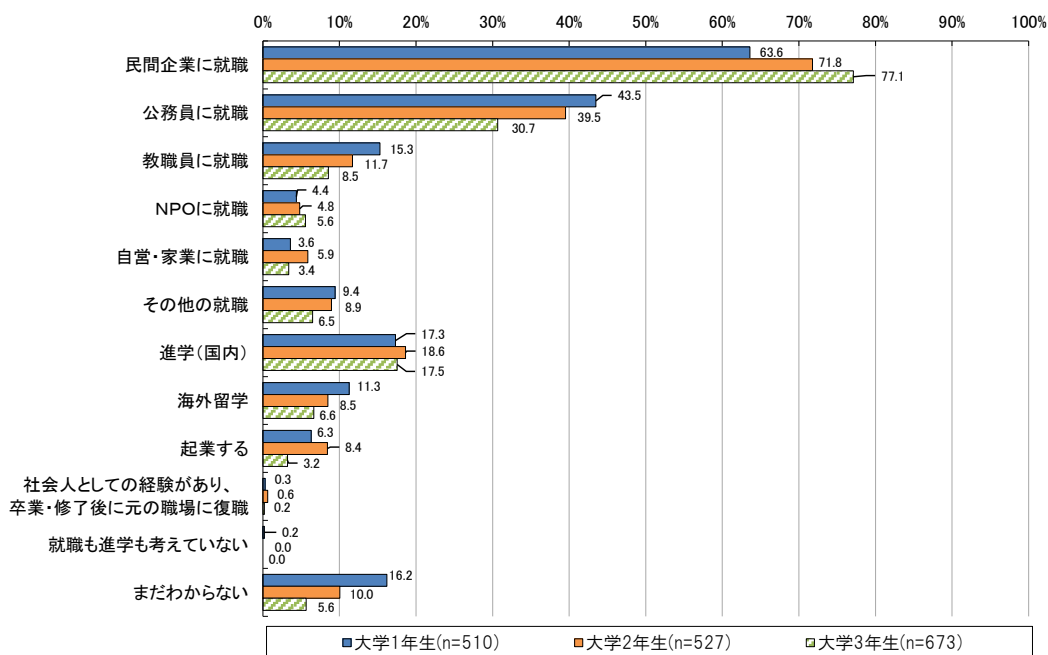
#### ①大学生の卒業後の進路予定（希望）、就職活動予定・実施状況

各学年の学生に対し、現在通っている大学／大学院を卒業・修了後にどのような進路を予定（希望）しているかをたずねた。また、卒業・修了するにあたり就職活動を行う予定があるか、あるいは、実際に就職活動を行ったか否かをたずねた<sup>5</sup>。

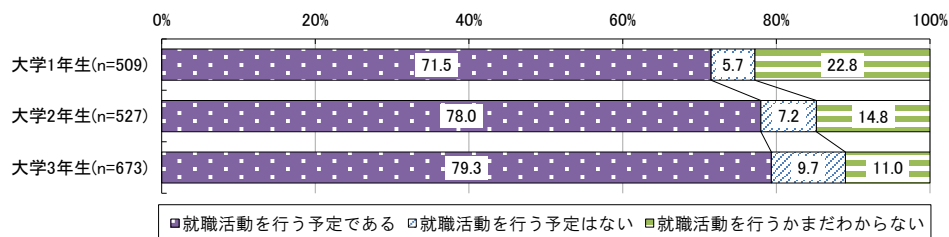
進路予定（希望）について大学1年生～大学3年生についてみると、いずれも「民間企業に就職」が6割以上となっており、次いで「公務員に就職」の割合が高くなっている（図表2-1-1）。なお、大学1年生では、大学2年生・大学3年生と比較して「公務員に就職」や「教職員に就職」の割合が高く、また、「まだわからない」の回答割合も高くなっている。このほか、国内の大学院等に進学を予定（希望）している者は各学年で2割弱となっている。

就職活動予定に関しては、大学1年生～大学3年生ともに7割以上が「就職活動を行う予定である」と回答しているが、大学1年生では「就職活動を行うかまだわからない」が22.8%と比較的高くなっている（図表2-1-2）。

図表 2-1-1 大学1年生～大学3年生、大学卒業後の進路予定・進路希望（複数回答）



図表 2-1-2 大学1年生～大学3年生、大学卒業後の就職活動予定

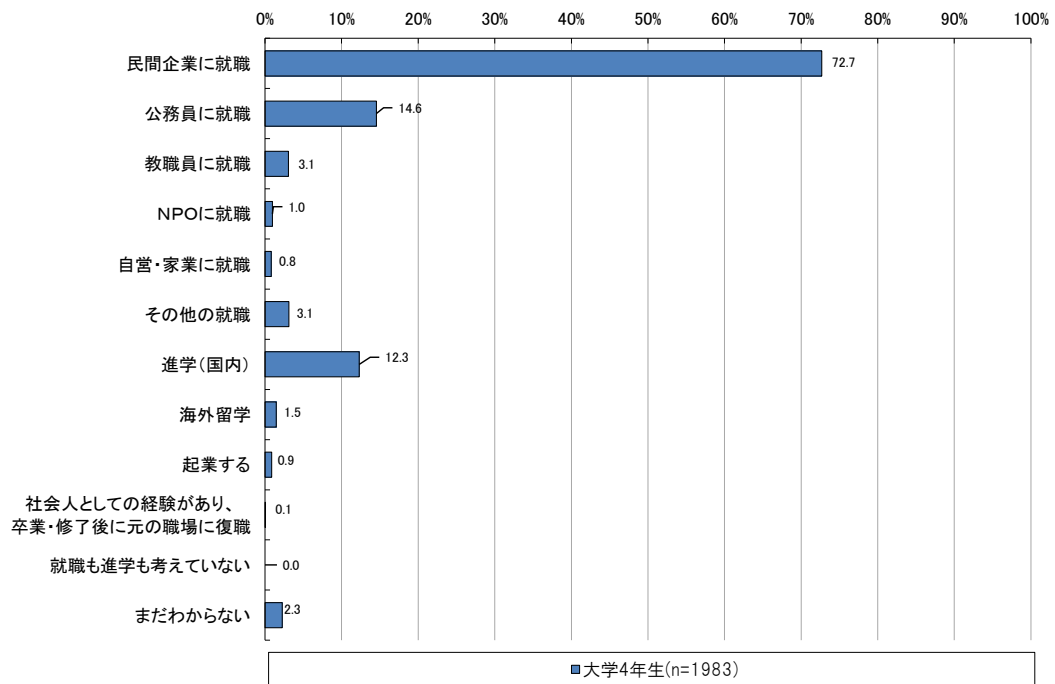


<sup>5</sup> ここでの集計対象は本調査の有効回答全数である。

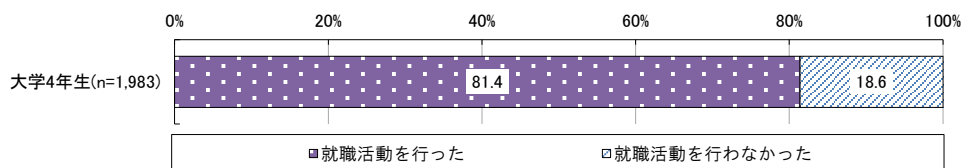
卒業後の進路予定（希望）<sup>6</sup>に関して大学4年生についてみると、「民間企業に就職」が72.7%となっており、次いで「公務員に就職」、「進学（国内）」の順で高くなっている（図表2-1-3）。なお、「公務員に就職」の回答割合は14.6%であり、大学3年生の回答と比較すると半数程度となっている（図表2-1-1参照、大学3年生30.7%）。

また、大学4年生の就職活動の実施状況に関して、「就職活動を行った」のは回答者のうち81.4%であった（図表2-1-4）。

図表 2-1-3 大学4年生、大学卒業後の進路予定・進路希望（複数回答）



図表 2-1-4 大学4年生、就職活動の実施状況



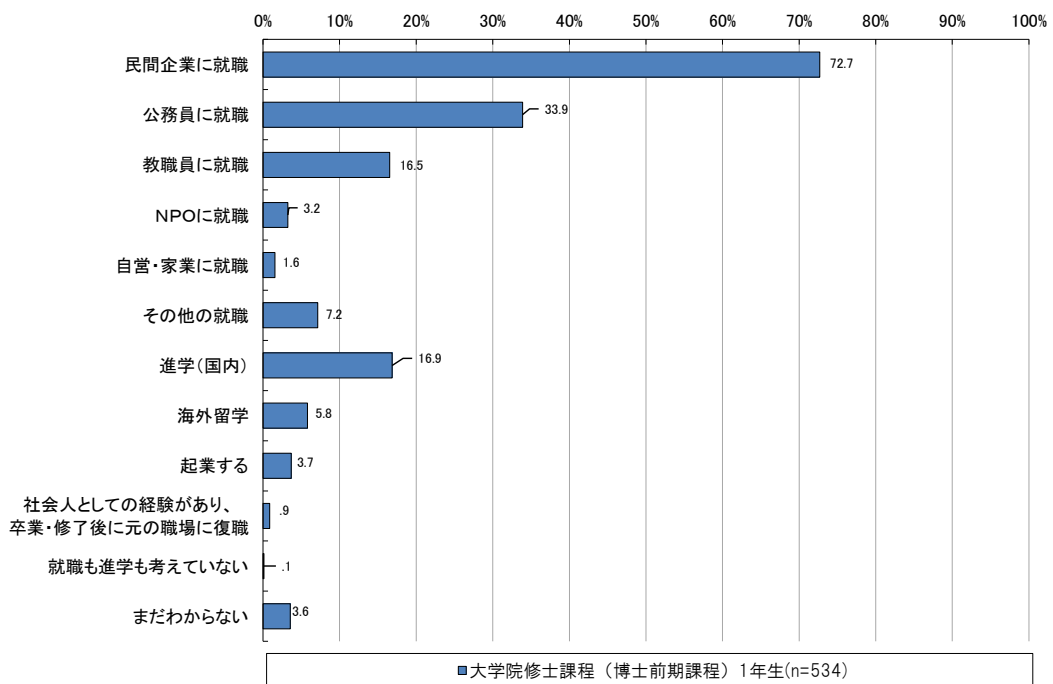
<sup>6</sup> 大学4年生に関しては、進路先がほぼ定まっている者も多いことが想定されるが、ここでは、進路予定（希望）として、複数回答の設問により得られた結果について示した。

②大学院生の修了後の進路予定（希望）、就職活動予定・実施状況

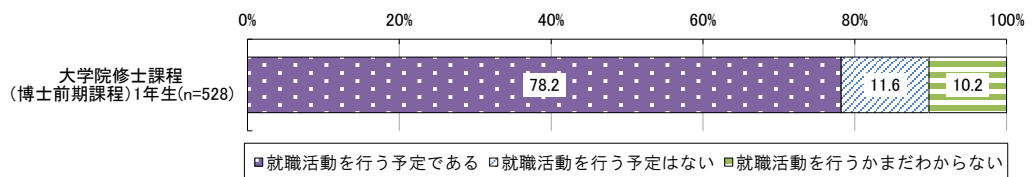
進路予定（希望）ならびに就職活動予定に関して大学院修士課程（博士前期課程）1年生についてみると、「民間企業に就職」が72.7%となっており、次いで「公務員に就職」の割合が高くなっている（図表 2-1-5）。

また、就職活動予定に関しては、78.2%が「就職活動を行う予定である」と回答している（図表 2-1-6）。

図表 2-1-5 大学院修士課程（博士前期課程）1年生、大学院修了後の進路予定・進路希望（複数回答）



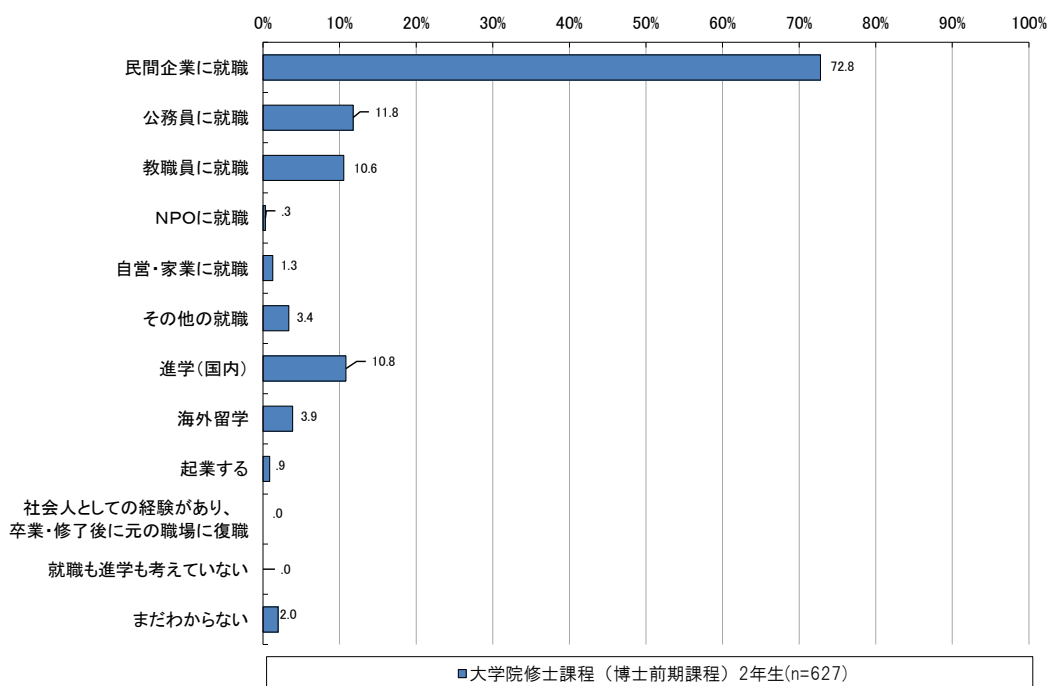
図表 2-1-6 大学院修士課程（博士前期課程）大学1年生、大学院修了後の就職活動予定



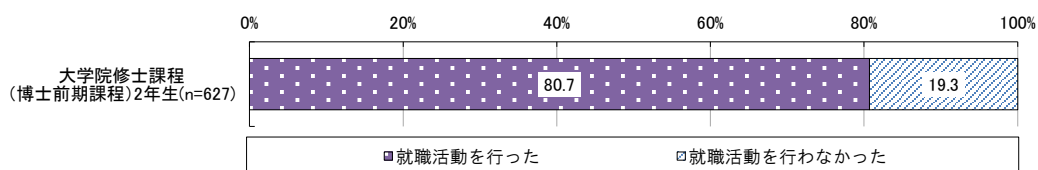
進路予定（希望）<sup>7</sup>に関して大学院修士課程（博士前期課程）2年生についてみると、「民間企業に就職」が72.8%となっており、次いで「公務員に就職」「教職員に就職」「進学（国内）」がそれぞれ1割程度となっている（図表 2-1-7）。

また、就職活動の実施状況に関して、「就職活動を行った」のは回答者のうち80.7%であった（図表 2-1-8）。

図表 2-1-7 大学院修士課程（博士前期課程）2年生、大学院修了後の進路予定・進路希望（複数回答）



図表 2-1-8 大学院修士課程（博士前期課程）大学2年生、就職活動の実施状況



<sup>7</sup> 大学院修士課程（博士前期課程）2年生に関しては、進路先がほぼ定まっている者も多いことが想定されるが、ここでは、進路予定（希望）として、複数回答の設問により得られた結果について示した。

## (2) 就職先についての考え方

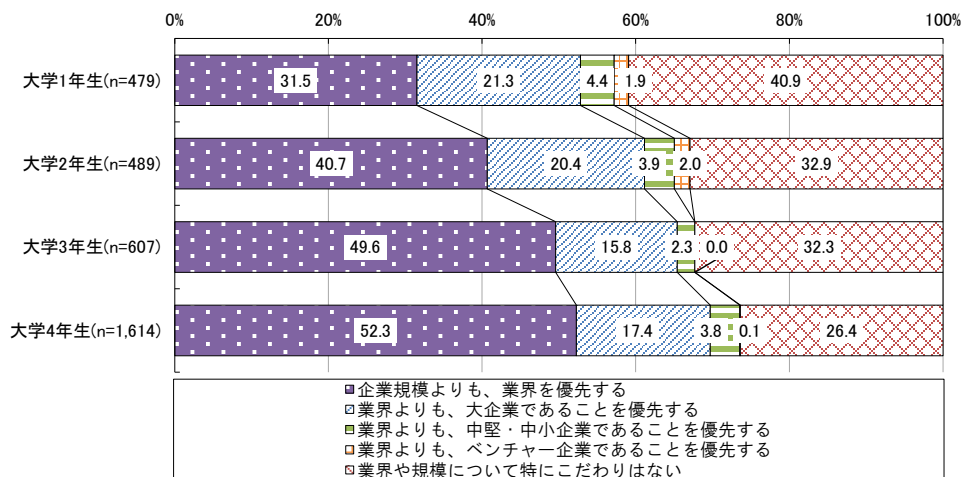
### ① 業界や企業規模についての考え方

「就職活動を行う予定である」「就職活動を行うかまだわからない」、または、「就職活動を行った」と回答した各学年の学生に対し、就職先の業界や企業規模に対する考え方についてたずねた<sup>8</sup>。

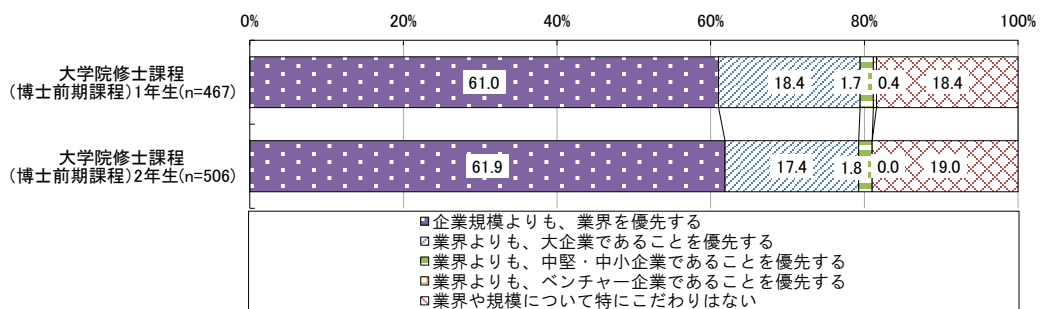
大学生について学年別にみると、大学1年生では「業界や規模について特にこだわりはない」の割合が40.9%と最も高くなっているが、大学2年生～大学4年生では「企業規模よりも、業界を優先する」の割合が最も高くなっている（図表 2-2-1）。また、学年が高くなるにつれて「企業規模よりも、業界を優先する」の割合が高くなる傾向が見られる。

大学院生については、大学院修士課程（博士前期課程）1年生・2年生ともに、「企業規模よりも、業界を優先する」の回答が6割以上となっている（図表 2-2-2）。

図表 2-2-1 大学生、就職先の業界や企業規模についての考え方



図表 2-2-2 大学院生、就職先の業界や企業規模についての考え方

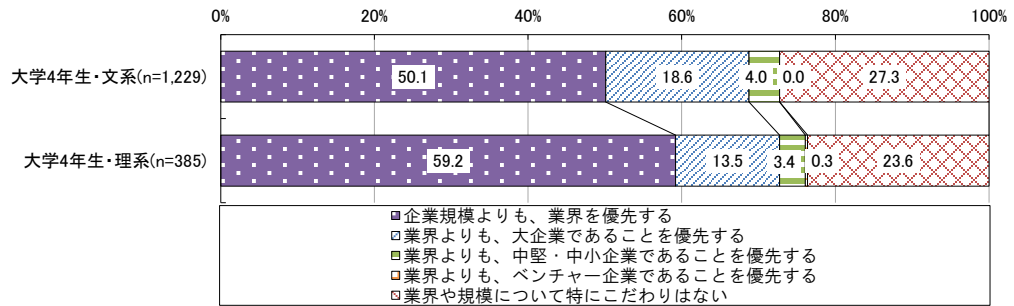


<sup>8</sup> これ以後第7章のインターンシップに関する集計の手前まで、大学1年生～大学3年生ならびに大学院修士課程（博士前期課程）1年生については「就職活動を行う予定である」「就職活動を行うかまだわからない」と回答した者について、大学4年生ならびに大学院修士課程（博士前期課程）2年生については「就職活動を行った」と回答した者を対象とした集計となっている。

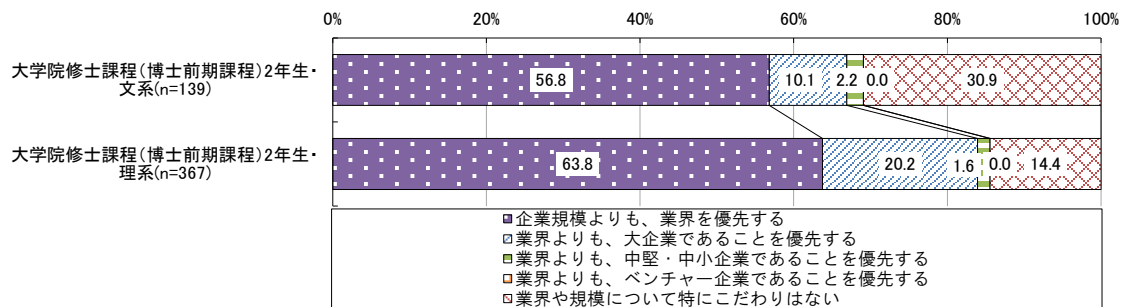
## ②文系・理系別の業界や企業規模についての考え方

大学4年生・大学院修士課程（博士前期課程）2年生について、就職先の業界や企業規模に対する考え方に関して文系・理系別にみると、大学4年生・大学院修士課程（博士前期課程）2年生ともに、理系の学生のほうが、「企業規模よりも、業界を優先する」の回答割合が若干高くなっている（図表2-2-3、図表2-2-4）。

図表 2-2-3 大学4年生の文系・理系別、就職先の業界や企業規模についての考え方



図表 2-2-4 大学院修士課程（博士前期課程）2年生の文系・理系別、就職先の業界や企業規模についての考え方

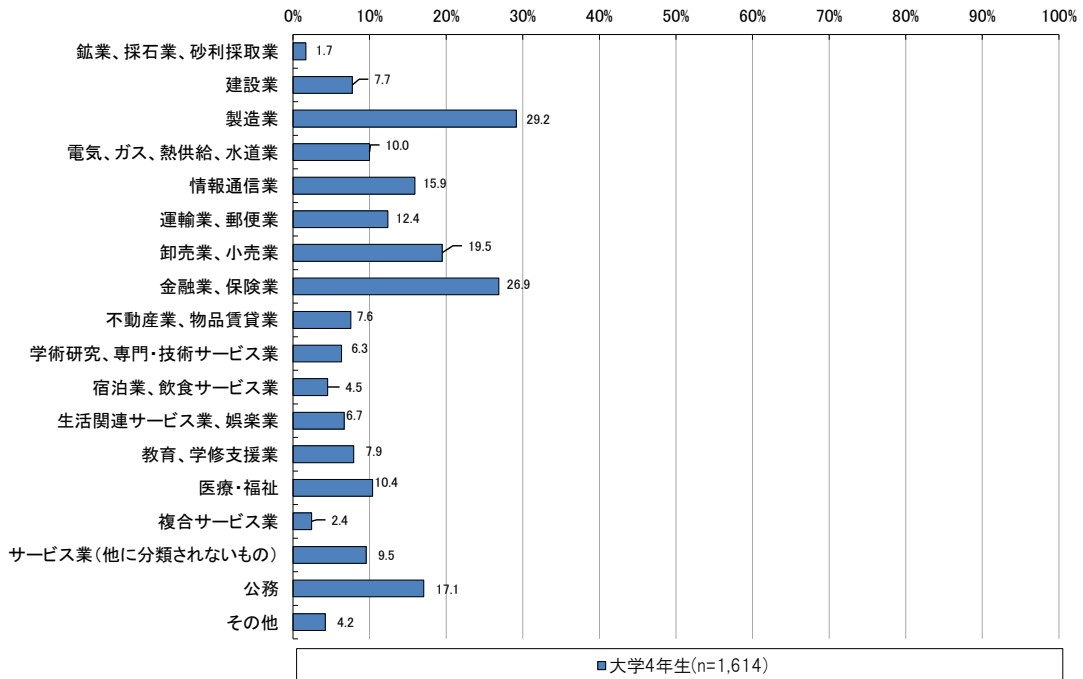


### ③志望していた（希望している）就職先の業界

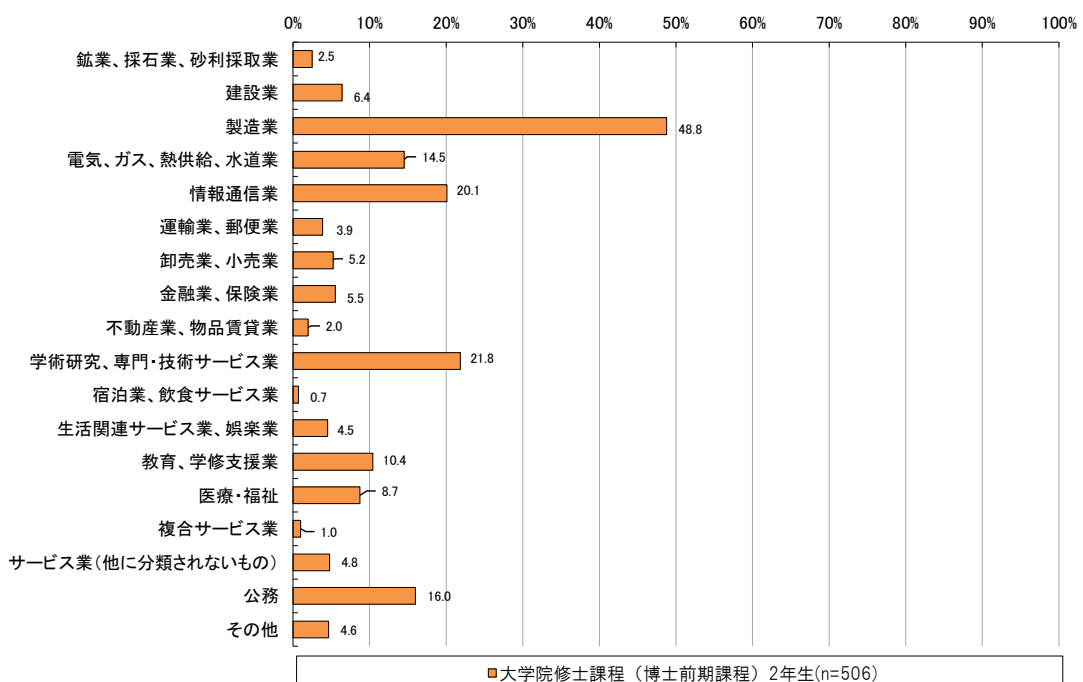
大学4年生・大学院修士課程（博士前期課程）2年生に関し、志望していた（希望している）就職先の業界についてみると、大学4年生では「製造業」「金融業、保険業」「卸売業、小売業」の順で回答割合が高くなっている（図表 2-2-5）。

大学院修士課程（博士前期課程）2年生では、「製造業」「学術研究、専門・技術サービス業」「情報通信業」の順で回答割合が高くなっている（図表 2-2-6）。

図表 2-2-5 大学4年生、志望していた（希望している）就職先の業界（複数回答）



図表 2-2-6 大学院修士課程（博士前期課程）2年生、志望していた（希望している）就職先の業界（複数回答）

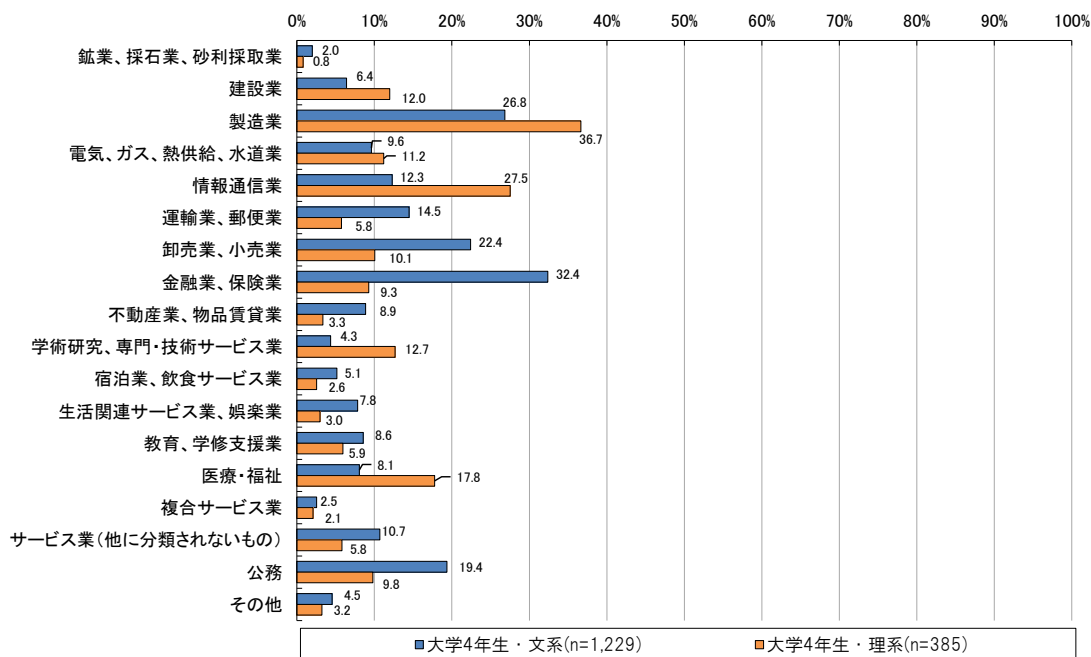


#### ④文系・理系別の志望していた（希望している）就職先の業界

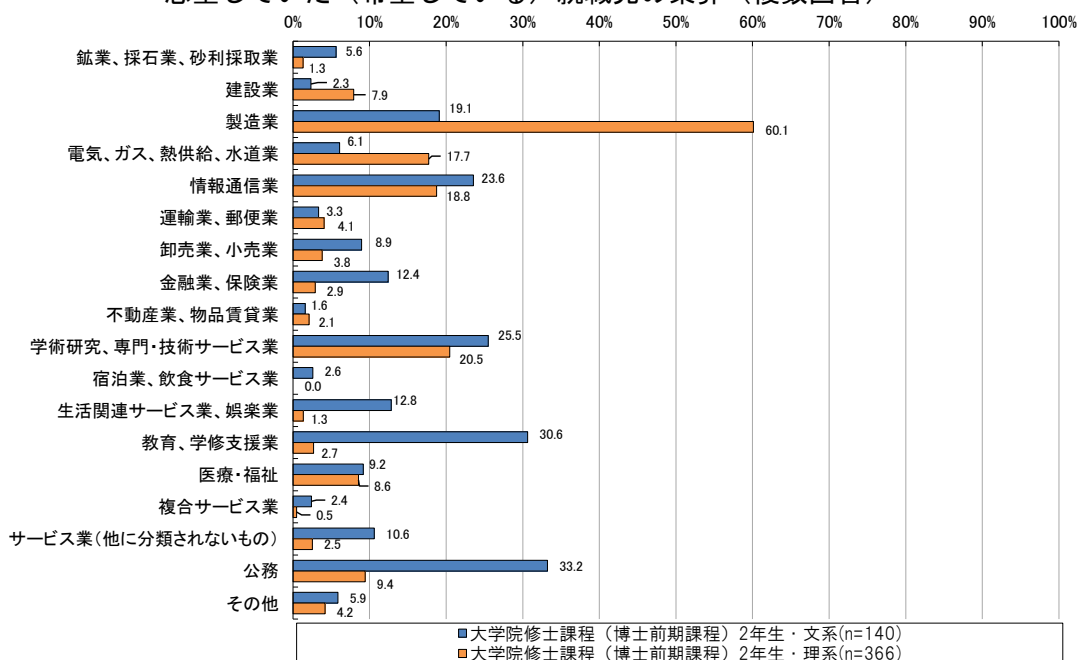
志望していた（希望している）就職先の業界について文系・理系別にみると、大学4年生の文系の学生では、「金融業、保険業」「製造業」「卸売業、小売業」の順で回答割合が高く、理系の学生では、「製造業」「情報通信業」「医療・福祉」の順で割合が高くなっている（図表 2-2-7）。

また、大学院修士課程（博士前期課程）2年生について、文系の学生では「公務」「教育、学修支援業」「学術研究、専門・技術サービス業」の順で高く、理系の学生では、「製造業」「学術研究、専門・技術サービス業」、「情報通信業」の順で高くなっている（図表 2-2-8）。

図表 2-2-7 大学4年生の文系・理系別、志望していた（希望している）就職先の業界（複数回答）



図表 2-2-8 大学院修士課程（博士前期課程）2年生の文系・理系別、志望していた（希望している）就職先の業界（複数回答）





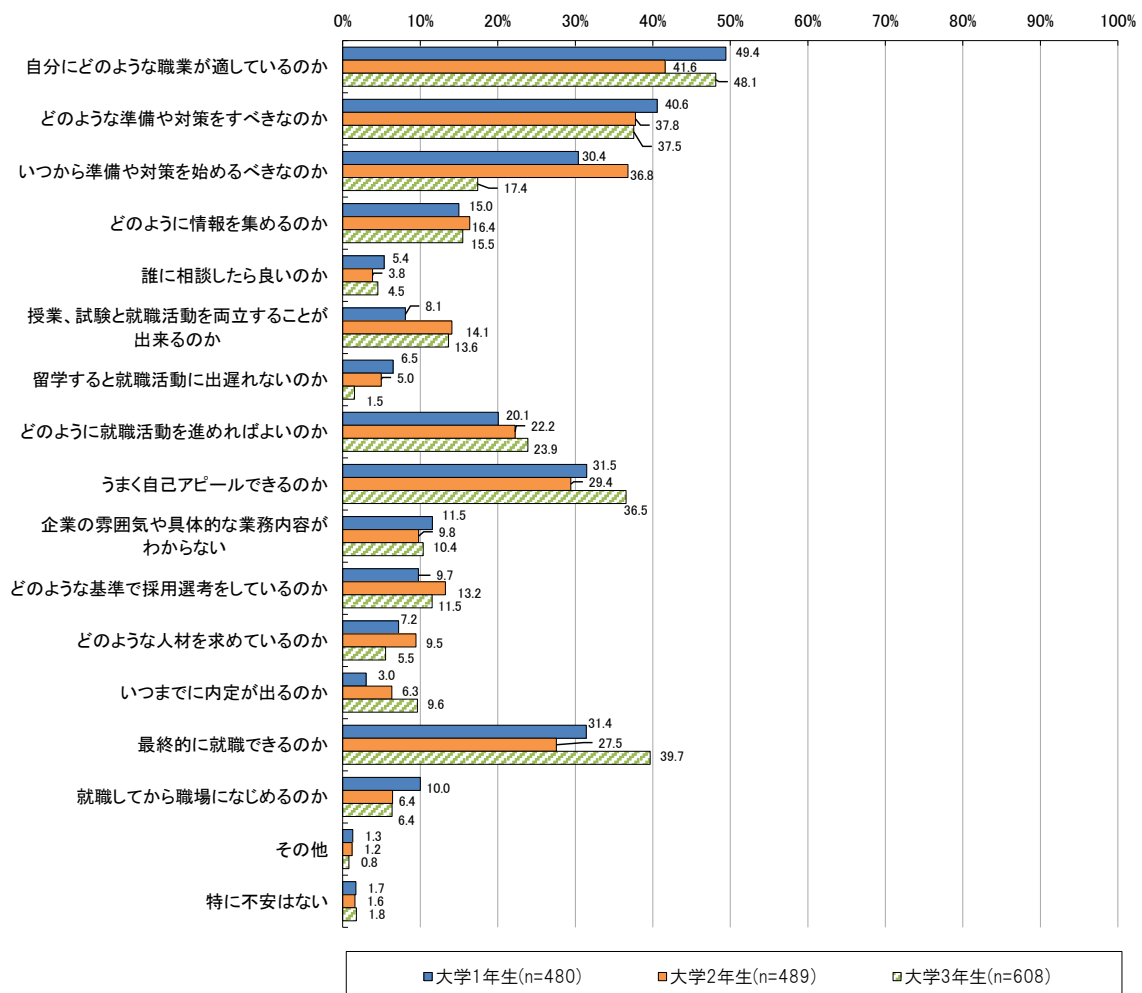
### (3) 就職活動に関する不安

#### ①大学生の就職活動に関する不安

大学1年生～大学3年生、ならびに、大学院修士課程（博士前期課程）1年生について、就職活動を行うにあたり不安なことについてたずねた。また、大学4年生と大学院修士課程（博士前期課程）2年生については、実際に就職活動を行うにあたり不安だったことについてたずねた。

大学1年生～大学3年生についてみると、いずれの学年でも「自分がどのような職業に適しているのか」について回答割合が最も高くなっている<sup>9</sup>（図表2-3-1）。なお、大学1年生・2年生では、「どのような準備や対策をすべきなのか」の回答割合が次いで高く、また、大学3年生に比べて「いつから準備や対策を始めるべきなのか」について回答割合が高くなっている。このほか、大学3年生では、「うまく自己アピールできるのか」「最終的に就職できるのか」等の回答割合が比較的高くなっている。

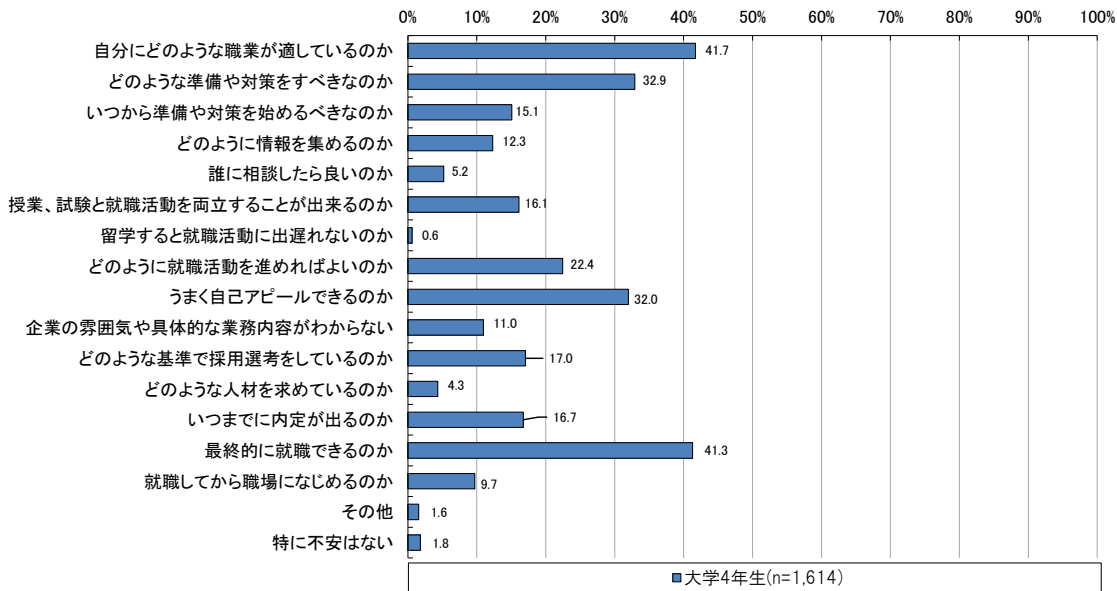
図表 2-3-1 大学1年生～大学3年生、就職活動を行うにあたり不安なこと（最大3つまで選択）



<sup>9</sup> これら就職活動に関する不安について上位にあげられている項目は昨年度調査とほぼ同様である。

大学4年生に関して、実際に就職活動を行うにあたり不安だったことについてみると、「自分にどのような職業が適しているのか」「最終的に就職できるのか」の割合が4割以上となっている(図表2-3-2)。また、「どのような準備や対策をすべきなのか」「うまく自己アピールできるのか」について3割以上となっている。

図表 2-3-2 大学4年生、就職活動を行うにあたり不安だったこと(最大3つまで選択)

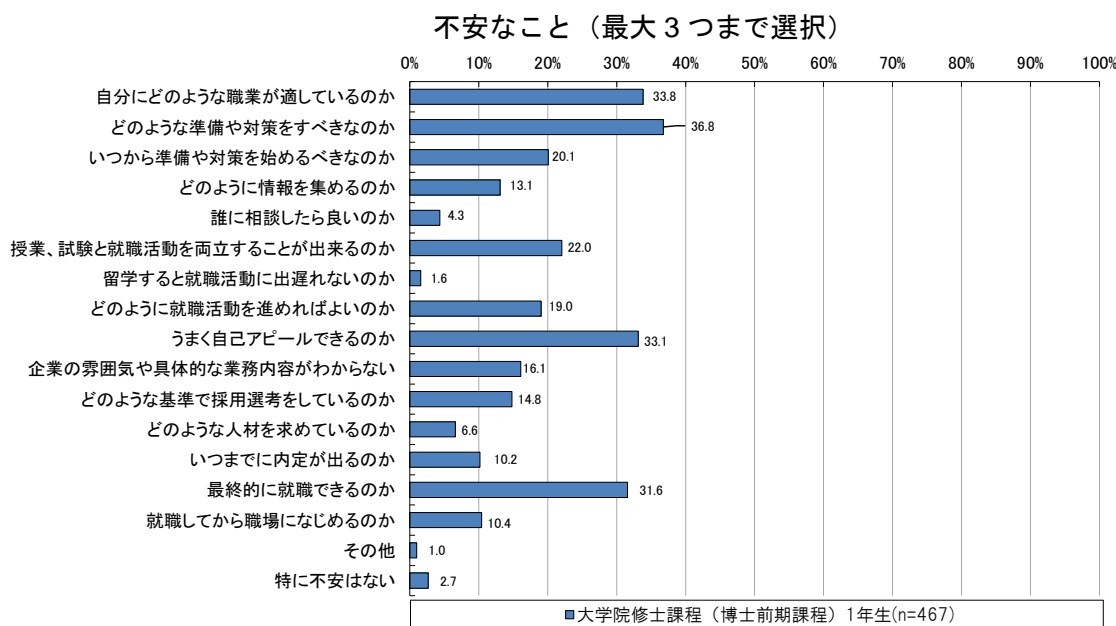


## ②大学院生の就職活動に関する不安

就職活動を行うにあたり不安なことに関して大学院修士課程（博士前期課程）1年生についてみると、「どのような準備や対策をすべきなのか」が最も高く、このほか、「自分にどのような職業が適しているのか」「うまく自己アピールできるのか」「最終的に就職できるのか」が3割以上となっている（図表 2-3-3）。

また、実際に不安だったことに関して大学院修士課程（博士前期課程）2年生についてみると、「自分にどのような職業が適しているのか」「うまく自己アピールできるのか」「最終的に就職できるのか」について3割以上となっている（図表 2-3-4）。

図表 2-3-3 大学院修士課程（博士前期課程）1年生、就職活動を行うにあたり



図表 2-3-4 大学院修士課程（博士前期課程）2年生、就職活動を行うにあたり

